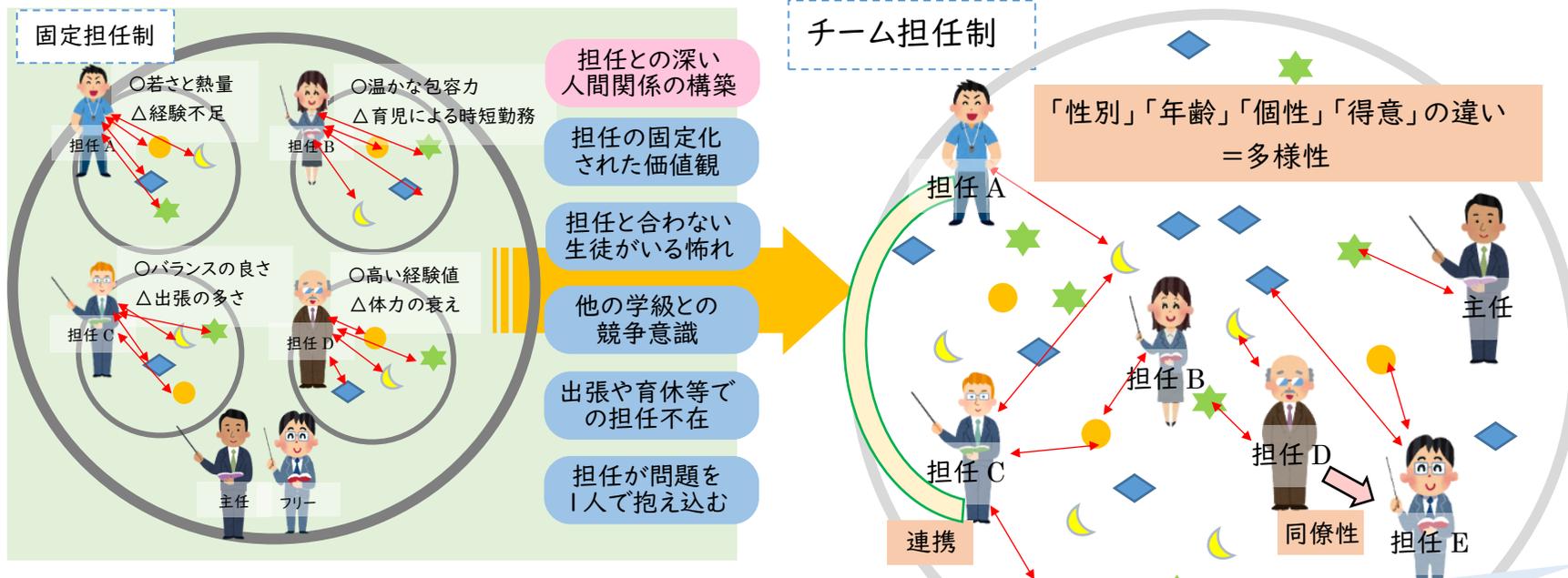


チーム担任制

【ねらい】教師がそれぞれの得意を生かし、多様な生徒の価値観に寄り添うことができる。
教師が伴走者となり、生徒主体で日常生活や行事を創り上げていくことができる。



- 担任との深い人間関係の構築
- 担任の固定化された価値観
- 担任と合わない生徒がいる怖れ
- 他の学級との競争意識
- 出張や育休等での担任不在
- 担任が問題を1人で抱え込む

- 多様な考えとの出会い
- 生徒の主体性の伸長
- 複数教員による見届け
- 教員の得意を活かした指導
- 教員同士の学び合い
- 生徒の多様性に合わせた支援
- 教師の働き方によらない継続的な指導
- 担任との関係性の希薄さ
- 情報共有の不確実性

Q: 誰に相談すればよいですか?

A: 一人ひとりのお子さんに「懇談担当」を決め、1年間を通して一貫して責任を持って対応します。懇談担当は年度当初に学校が決め、お伝えします。保護者の希望で「懇談担当」は変更します。

Q: チーム担任はどのように変わりますか?

A: 学年主任以外の教師がチーム担任となります。変わり方は、学年の状況に応じて、日替わり、複数日、週単位等で変えていきます。多くの教師と出会うために、原則、短期間で交代となります。

Q: 1人の担任と創り上げてきた行事等は変わりますか?

A: 行事を大切に創り上げることに変わりはありません。ただし、主体は教師ではなく生徒であり、生徒の意思に基づいて創り上げる行事が変わります。そのため、1人の担任の考えで指導するのではなく、チーム担任の変わる周期等を工夫して、チーム担任で生徒の意思を尊重して伴走していきます。

Q: チーム担任は、どのように情報を伝えますか?

A: 毎朝と、放課後に学年打合せを行います。朝は、学年主任を中心に、各学級や一人ひとりについての見通しを共有します。放課後は、その日の成果や課題、次の日に気をつけることを確認します。「情報共有シート」も作成し、情報も蓄積していきます。また1週間に2回程度、放課後に長めの打合せを行います。